

宮城県にて「臨時総会」を開催

昨年12月7日(日)、宮城県の鎌先温泉「湯守・木村屋」にて臨時総会(兼忘年会)が開催されました。

鎌先温泉は、白石蔵王駅より車で15分ほど内陸に向かった山間に位置し、木造4階建ての歴史ある旅館をシンボルに、5軒の宿が建ち並び、知る人ぞ知る？秘湯であります。行ったことのない旅館を訪ねるときは、期待と不安でドキドキするものですが、このドキドキが、今回は残念ながら良くない方に作用してしまいました…。ご不快な思いをさせてしまった参加者の皆様には、心よりお詫び申し上げます。やはり、パンフレットやウチコミを鶴呑みにはいけない場合もあることを学んだ事務局でした。

さて、気を取り直しまして、当日は総勢33名と、たくさんの方のご参加をいただきました。後援会からは、沼尻会長と中村副会長、大学からは、柳澤

理事長、波多野学長、藤田学園事務局長・総務部参与、倉島総務部長、大塚総務課長、鈴木財務課主任、飯島総務課主任が出席しました。



馴染みの面々、初参加の方、久々の再会となった方など、年代と地域を超えた素晴らしい交流の場となりました。宮代会って本当にいいですね！

宴会の中締めは、お馴染みの藤田さん。平成3年に総務課長に就任されて以来、宮代会の皆様には大変お世話になっていますが、この3月末日をもちまして、めでたく65歳の定年退職を迎えられました。なお、退職後も引き続き学園事務局長を務められ、宮代会にも特別会員として参加されますので、今後ともよろしくお願いいたします。

〈市制60年を迎えた白石の街を旅する〉
見事に復元された「白石城」

平成26年4月に市制施行60年を迎えた白石市。翌日、一行は、市の中心に建つ「白石城」へと足を運びます。現在の白石城天守閣は、平成7年に復元された





ものです。城郭として機能した文政6年再建後の最晩年の構造による天守閣を忠実に復元したそうです。日本古来の建築様式に基づき、数百年の歳月に耐え得る全国的にも数少ない木造復元は、学術的にも高い評価を得ています。高欄からは白石城下が一望でき、蔵王連峰をはじめとする自然豊かな四季の景色が楽しめます。この日も一面青空が広がり、澄みわたる空気の中、360度パノラマの景観を堪能しました。

「白石温麵」の工場見学

続いて、白石の名物「温麵」の工場見学へ。「温麵」と書いて「うーめん」と読みます。温麵の発祥は藩政・元禄時代に遡ります。この地に暮らす鈴木味右衛門が胃の病を患った父親のために、旅の僧から教わった油を使わない麵の製法を苦心の末、会得して食べさせたところ、病が回復。この孝



行話が、時の領主・片倉小十郎に伝わり、親への温情の心を讃えられて「温麵（うーめん）」の称



を得たと言われている。今回訪ねたのは「きちみ製麵」。キャップをかぶり、製粉から箱詰めまでコンパクトにまと

められた工場を見学。昼食は隣接する食堂で、温かい鶏温麵と焼きおにぎりをいただきました。素朴で優しい味で、身体も心も温まりました。温麵は長さ9センチと短いので、小さいお鍋でも茹でられるのが便利です。是非一度、ご賞味くださいませ。次回の臨時総会は、今回の教訓を活かして旅館を決定したいと思しますので、これに懲りずにご参加をお願いいたします！

新春懇親会が開催されました

1月11日（日）、新宿の「ハイアットリージェンシー東京」にて宮代会・後援会・工友会・大学合同



の新春懇親会が開催されました。本会からは18名、総勢100名を超える方々のご参加をいただき、新年の幕開けを祝しました。